

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	がん診断後の心血管疾患の発症と増悪に関連する要因に関する後ろ向き観察研究	
1. 研究の目的と方法	目的：がんと診断されると強い心理的ストレスがかかり、その影響で心臓や血管の病気が起こりやすくなることが分かってきています。しかし、どのようなかたにがん診断後に心臓・血管の病気が起こりやすいのか、がん診断前後で心電図に変化が生じているか、などについては、これまで詳細には検討されていません。本研究は、当院でがんと診断された患者さんの診療記録をさかのぼって調べ、がん告知後にどのくらい心臓・血管の病気で入院されるのか、また 糖尿病や高血圧症などの持病や心電図の変化が心臓・血管の病気での入院にどのくらい関係しているのかを明らかにすることを目的としています。 がん告知後に心血管疾患を発症しやすいかたの特徴や心電図のサインが分かれば、早期からの生活指導や予防薬の検討など、より安全ながん治療につながる対策を講じることができる可能性があります。今後がんと向き合う患者さんの健康を守る手がかりを得ることが、本研究の最終的な目標です。 方法：当院で行っているがん登録に登録された患者さんの外来診療記録、入院記録、心電図などを匿名化して統合し、①がん診断後の心血管疾患による入院 ②持病・生活習慣と心血管リスク ③診断前後の心電図変化 を統計的に解析します。診断時期や年齢・性別が似た、がんを発症していない患者さんを比較対象にすることで、「がん告知というストレス」が与える影響を詳しく評価します。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日から 2030 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	1. 2018 年 1 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日までの間に、東京慈恵会医科大学附属病院の院内がん登録に登録された、18 歳以上のかた。 2. 1. のかたと同時期に、東京慈恵会医科大学附属病院において、1. のかたと同じ診療科の外来を受診していた、18 歳以上のかた（全ての診療科が対象となりえます）。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	以下の情報を取得するために、院内がん登録の情報、電子カルテの情報、DPC データを参照します。 ・対象者の年齢、性別、通院歴、通院診療科、入院歴、入院病名（病名コードを含む） ・既往歴（心血管疾患・精神疾患・代謝異常・生活習慣病など）

		とその診断日 ・生活歴（喫煙歴・飲酒歴・身長・体重・ソーシャルサポートについての情報など） ・がんの病名、診断日 ・心電図検査の施行日と波形データ	
	(4) 情報の取得の方法	院内がん登録、電子カルテ、DPC データから情報を収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座
		氏名	内富庸介
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 9 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 がんサバイバーシップ・デジタル医療学講座 研究責任者：産学連携教授 内富 庸介（ウチトミ ヨウスケ） 窓口担当者：産学連携助教 小濱 京子（オバマ キョウコ） 電話番号：03-3433-1111（内線 2896） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：30		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
 研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。